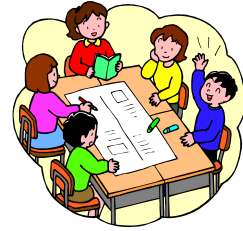


レ ス ス ン プ ラ ン

4 学年 第 5 回 (コミュニケーション)

テーマ: 「違うって、すばらしい！」



授業の目標:

- (1) 自然界や人間の世界において、多様性が重要であることに気づく
- (2) 違った考えを持つ人たちが集まることにより、創造性が増し、可能性が広がることを知る

用意するもの:

ALT

担当教師

- 森林の写真
- 絵を描く活動用ワークシート
- お話リレー用ワークシート

- A4サイズの用紙 (全員分)

時間	活 動	気づいた点
2分	ALTは子どもたちに森林の写真を見せる。子どもたちは、森に生息するいろいろな種類の動植物の名前を自由に出し合う	
3分	担当教師は森の中にある多様性について話題が展開するように導く。担当教師は、「色々な種類の植物があったら、素敵なことではないか、一緒に美しい森を作っているのだから」「もし、たった1つの花しかなかったら、世界はつまらないものになってしまうのではないか」などと言い、「森の中に多くの種類の植物があるように、人も同じで、世の中には色々なタイプの人がいるから面白いのではないかと、森と人間の共通点に触れる。	
15分	ALTと担当教師は協力して、小さな丸が描かれた紙を子どもたちに配り、この丸を使って絵を書くように言う。その後、自分の描いたものをグループやクラスのみんなど見せ合い、それぞれの考えたものが様々であることに気づく。	
15分	列毎で一列のチームになり、「お話リレー」を行う。「昔々、あるところに、ひとりの娘がすんでいました」という文章からスタートする。ALTは、キーワードを言い、子どもたちは、そのキーワードを使って、話の続きを一文書く。2分したら、自分の紙を後ろの人に渡す(最後列の人は、最前列の人へ渡す)。ALTは次のキーワードを言い、子どもたちは話を続ける。これを数回繰り返し、最後の人はお話を完結させる。そして最後に自分にシートが戻る。ALTは、何人かに自分のシートにある話を読んでもらう。	
4分	担当教師は、「お話リレー」の活動について振り返り、みんな同じものを見て、同じ形・同じお話の書き出しを与えられても、最後には違うものになったことを指摘する。そして、みんな違う考えを持っていて、その多様性は素晴らしいことを伝える。	
1分	ALTと担当教師は「人にはいろいろな違いがあり、そのひとつが発想(考え方)の違いである。様々な考え方があるから私たちの生活は豊かで楽しいものになっている。森の中にたくさんの植物や花や木があるように、考え方もたくさんある。だから、自分とは違う人、違う考えをもつ人と協力すれば、その人から多くのことを学ぶことができる」と、授業をまとめる。	